

競技上の注意事項

□本大会は「財団法人 日本テニス協会 テニスルールブック 2006」に準じて実施します。選手・監督・引率責任者は「ルールブック 2006」を熟読の上、ご参加下さい。以下に特に注意する点を記します。

1 試合心得

- (1) 出場選手は、対戦前の整列・挨拶（メンバー紹介及びオーダー交換等）を礼儀正しく行うなど、マナーを守り、試合に臨んで下さい。
- (2) 関東各都県の代表としての誇りを持ち、スポーツマンシップの則り正々堂々とプレーをして下さい。守られない場合には「ルールブック」に従い、「コードオブコンダクト」を適用します。また、試合中は以下の通りとします。
 - ①相手プレーヤーには不愉快な思いをさせないよう、言動に気をつけましょう。
 - ②フェアプレーの精神でベストを尽くし、正々堂々と戦いましょう。
 - ③隣り合ったコートで共に試合が進行しているときは、隣コートのプレーヤーのプレーを妨げないように気遣いましょう。
 - ④審判員に対して質問をしたり確認を求めたりするときは、節度ある態度を取りましょう。
- (3) ユニフォームは全国高等学校体育連盟テニス部の規定に従って下さい。また、開会式、表彰式及び閉会式には、ユニフォーム又はウォームアップを着用して臨んで下さい。
- (4) プレーヤーは、トランシーバー、携帯電話、CDプレーヤーなどを試合中に使用することは出来ません。団体戦におけるベンチコーチもこれに準じます。
- (5) 試合を円滑に進めるために、観客やベンチコーチ（応援マナーやコーチング等）及び選手の倫理規定に反する行為に対しては、ロービングアンパイア等が直接対処します。

2 試合方法

- (1) 試合球は公認球（イエロー）を使用します。
- (2) 審判は開催県の競技補助員が行います。又、ラインアンパイアがスコアパーソンを兼ねます。
- (3) 試合はすべてオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控えの選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合が終了後直ちにコートに入って下さい。また、試合前のウォームアップは3分以内とします。審判の指示で適切に試合を進行して下さい。
- (4) 試合開始（試合の最初のサービスがインプレーになったとき）から試合が終わるまでは、プレーは連続的に行って下さい。第1ゲーム終了後の休憩は認めません。
- (5) 選手は「レット」の主張を出来ません。

3 その他

- (1) 前年度の優勝杯（持ち回り）を保持している学校は、監督会議開始までに大会会場へご持参下さい。

団体戦の注意事項

- (1) 出場する選手は対戦前の整列に必ずプレーできる服装で集合して下さい。集合できない選手をオーダーに記載することは出来ません。
- (2) 一度提出されたオーダーの変更は認められません。また、誤りがある場合、対戦校はロービングアンパイアに訂正を要求することができます。
- (3) 試合はダブルス、シングルスNo.1、シングルスNo.2の順で行います。但し、2試合以上を同時に進行する場合もあります。また、勝敗が決定した後、シングルスNo.2の選手を変更することができます。その場合は対戦校とロービングアンパイアの了承を得て下さい。
- (4) ダブルスは5名の登録選手の中から、2名を選出して下さい。シングルスは残り3名の中からランキング順にNo.1、No.2を選出して下さい。オーダーは対戦ごとに提出とします。
- (5) 試合はすべて1タイブレークセットマッチで行います。1R・2R・決勝戦以外の対戦は2-0の場合、打ち切りとします。
- (6) 決勝戦終了後、表彰式を行います。